

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第3学年 総合的な学習の時間

## 「みんなにやさしい町」(12時間)

## 1 単元の目標

- ① 障害のある人や高齢者との交流や体験活動を通して、障害のある人や高齢者の感じ方や考え方などを理解し、その人の立場に立って考えることができる。
- ② 障害のある人や高齢者と共に暮らしていくために、自分たちができることを考え、実践しようとする意欲を高める。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・提示された課題を基に、自分の課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法を考え、実行すること

- ・疑似体験や調査活動を通して、障害のある人や高齢者が自分たちの住む町で共に暮らしていく上での課題を見付けるとともに、その解決に向けた方法を考え、実行する。

## ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを見付け、違いを認め、話し合うこと
- ・他者の気持ちを考えて行動すること

- ・友達と自分の考えを比較し、目的を達成するために自分たちができることを模索しながら話し合うとともに、障害のある人や高齢者の立場に立って、調査活動を行い、解決方法を考える。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

- ・自分の住む町では、障害のある人や高齢者など様々な立場の人が自分たちと共に暮らしていることを理解し、地域の一員として自分ができることを考え、実践しようとする。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| 福祉教育       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑似体験や調査活動を通して、障害のある人や高齢者の立場を理解し、自分たちの町で健康や安全を考え、支え合い、共に生きることの意義について考えることができるようにする。</li> <li>・地域で生活している障害のある人や高齢者が安心して暮らす上での課題を見付け、それに対して自分たちができる活動を考え、共によりよく生きようとする資質や能力を育てる。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活を営む一員として、地域で生活している障害のある人や高齢者に思いやりの心で接し、助け合って生活することへの意欲を高める。</li> </ul>   |
| I C T教育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを利用して調べたり、撮影した画像を利用して調査結果を記録したりすることで、目的に応じたI C T機器の利用方法を理解するとともに操作の技術の向上を図る。</li> </ul>   |

## 4 単元の指導計画（12 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|-----------|--|--|---|
| 1次<br>(3) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【みんなにやさしい町について考える】<br>○自分たちの町でみんなにやさしいと思う施設や設備、人によっては不便と思われる施設や設備について話し合う。(1)<br>・点字ブロックや音の出る信号<br>・道路の段差や階段<br>・駅の券売機の点字<br>・スライド式ではないドア 等<br>○障害のある人や高齢者の疑似体験をして、気付いたことを話し合う。(2)<br>・車いすに乗って校舎を巡る。<br>・アイマスクを付けて校舎を巡る。<br>・障害のある人や高齢者の立場に立つと、危険なことや不便なことがある。                              | ◇問題発見・解決力<br>★疑似体験や調査活動を通して、障害のある人や高齢者が、自分たちが住む町で共に暮らしていく上での課題を見付けている。                                 | ・自分の住む町に愛着と誇りをもてるように、「さらによくするために」という視点で話し合うように助言する。<br>・疑似体験での安全管理を徹底する。<br>・疑似体験をすることで障害のある人や高齢者の視点から考えられるようにする。 |
| 2次<br>(5) | 調<br>べ<br>る<br><br>【町でバリアやバリアフリーになっているところを調べる】<br>○町のバリアやバリアフリーになっているところを調べる。(2)<br>・段差がある場所にはスロープが設置されている。<br>・スロープがあるところは、段差になっていないので歩きやすい。<br>○調べたことや考えたことをまとめ、発表会をする。(3)<br>・音の出ない歩行者用信号機は危ないので、声を掛ける必要があると思った。<br>・点字ブロックのところに自転車が置かれていたところもあったので、改善しなければならないと思った。  | ◆人間関係形成力<br>★障害のある人や高齢者の立場に立って、調査活動を行い、問題解決策を考えている。<br>★友達と自分の考えを比較し、目的を達成するために、自分たちができることを考え、話し合っている。 | ・調査活動では、児童の安全が確保できる体制を整える。<br>・バリアを探す視点として、車いすを使用している人、視覚や聴覚に障害のある人、高齢者を意識させ、それぞれの立場に立って考えるように働きかける。              |
| 3次<br>(4) | 実<br>践<br>す<br>る<br><br>振<br>り<br>返<br>る<br><br>【バリアフリーの町にするために自分たちができることを考え、実践する】<br>○バリアフリーの町にするために自分たちができることを考え、実践する。(3)<br>・車いすの人が通るときは進んで道をあける。<br>・点字ブロックの上に自転車を置かないことを伝えるポスターを作成し、掲示する。<br>○自分の実践を振り返り、これから取り組んでみたいことを作文に書く。(1)<br>・近所の高齢者のごみ捨てを手伝いたい。<br>・高齢者や小さな子供の近くを自転車で走る時は気を付けたい。<br>・手話を覚えて障害のある人を助けてあげたい。 | □主体的に計画・行動する力<br>★自分の住む町では、障害のある人や高齢者など様々な立場の人が自分たちと共に暮らしていることを理解し、地域の一員として自分ができることを考え、実践しようとする。       | ・自分たちができることとして、実現可能な実践であるかどうかについてよく吟味するように働きかける。<br>・実践への意欲を高めるために、本学習が終了した後も、朝の会で実践したことを報告する機会を設定することを伝える。       |

小学校

人間関係

社会参画

未来の創造

## 第4学年 総合的な学習の時間

## 「地域で働く人に学ぼう」(30時間)

## 1 単元の目標

- ① 地域で仕事に携わっている人の働く様子を調べ、仕事を体験する活動を通して、働くことの意味や大切さについての理解を深め、社会を形成する一員としての自覚を高める。
- ② 地域で仕事に携わっている人の思いや生き方に関心をもち、将来就きたい職業を考え、仕事に対する興味・関心や夢・希望をもつことができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、他者を尊重し、協力し合って活動すること

- ・地域で仕事に携わっている人の働く様子を調べる活動を通して、友達の考え方や調べ方のよさに気付き、自分の考え方や調べ方に生かすとともに、役割分担を明確にしながらか協力して活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分のことを考え、活動すること

- ・地域における仕事に興味・関心をもちとともに、地域の仕事に携わっている人から仕事の内容について教えてもらって体験することで、仕事に取り組む姿勢を学び、働くことの意味や大切さを自分なりに考える。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な生活体験や自然体験を通して、自分の考えをもち課題解決に向けて行動すること

- ・社会で働いている人の思いや願い、生きがいについて触れることで、将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望をもつ。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りには様々な仕事がたくさんあることに気付き、そこで働いている人の思いや願いを捉え、将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望をもつことができるようにする。</li> <li>・社会で働いている人の存在を理解し、感謝の気持ちを高めるとともに、自分の役割について考え、積極的に仕事をする事への意識や態度を育てる。</li> </ul> |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活を営む一員として、私たちの生活を支える仕事を維持・発展させていくための役割を考え、仕事に就くことに対する興味・関心や意欲を高める。</li> </ul>   |
| 主権者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の主権者として、働くことの意味について考え、社会に参画することへの興味・関心や意欲を高める。</li> </ul>  |

## 4 単元の指導計画（30 時間扱い）

| 時間         |                                     | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|------------|-------------------------------------|---|--|---|
| 1次<br>(8)  | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ               | <p>【地域の働く人を調べる】</p> <p>○地域にはどのような仕事をしている人がいるのかについて調べる計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の種類</li> <li>・仕事に従事する人数 等</li> </ul> <p>○地域にはどのような仕事があるのかについて調べる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店員、看護師、警察官、図書館司書 等</li> </ul> <p>○仕事別の従事者数をグラフにまとめ、特色について話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域には商業やサービス業で働く人がいる。</li> </ul> <p>○体験してみたい仕事を決め、活動計画を立てる。(2)</p>  | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★働く人に興味・関心を持ち、仕事調べに取り組んでいる。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科で学習した商店や生産の仕事と関連させながら地域の仕事に興味・関心をもたせる。</li> <li>・仕事体験が可能なリストを用意して、仕事の概要をつかませ、その中から選択できるようにする。</li> </ul>           |
| 2次<br>(13) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る | <p>【働く人から学んで、仕事体験をする】</p> <p>○自分が体験する仕事の様子についてグループごとに調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容</li> <li>・働いている人の様子、思いや願い</li> </ul> <p>○仕事体験について、お世話になる人と打合せをする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容や注意すること</li> </ul> <p>○第1回の仕事体験をする。(3)</p> <p>○中間報告会をする。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の内容や学んだこと</li> <li>・次の体験で取り組みたいこと 等</li> </ul> <p>○第2回の仕事体験をする。(3)</p>   | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★友達のインタビューの仕方によってよかったところを取り入れている。</p> <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★地域での仕事体験を通して、働くことの大切さを考え、活動に取り組んでいる。</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の工夫や努力、思いや願いに着目して調べられるようにワークシートに調べる視点を明記しておく。</li> <li>・仕事体験の後には、「私の仕事日記」を書いて、自分の取組を振り返るようにする。</li> </ul>           |
| 3次<br>(9)  | 振<br>り<br>返<br>る                    | <p>【学んだことから働くということを考える】</p> <p>○仕事体験で学んだことをグループごとにまとめる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びとった仕事の工夫や技術</li> <li>・働く人の思いや願い、生き方</li> <li>・自分が学んだことや考えたこと 等</li> </ul> <p>○「仕事体験発表会」を行う。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験した仕事</li> <li>・仕事の内容</li> <li>・仕事をして考えたこと</li> <li>・将来、仕事に就くことへの考え 等</li> </ul> <p>○将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望について作文を書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義や大切さ</li> <li>・仕事への憧れ、夢や希望 等</li> </ul> | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★役割分担を明確にしながら協力して活動に取り組んでいる。</p> <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★社会で働いている人の思いや願い、生きがいについて触れることで、将来の仕事に対する興味・関心や夢・希望をもっている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お世話になった人を招待して、感想を述べてもらう場を設定する。</li> <li>・働くことの意義や大切さを考えて、自分なりの考えを発表するように助言する。</li> <li>・作文はお世話になった人にも紹介する。</li> </ul> |

小学校

自主・自律

人間関係

未来の創造

## 第5学年 総合的な学習の時間

## 「私たちにかかるお金はいくら」（16時間）

## 1 単元の目標

- ① 中学校に入学するまでにかかる費用を計算することを通して、金銭に関する知識や感覚を身に付ける。
- ② 中学校に入学するまでにかかる費用について考えることを通して、多くの人や社会に支えられていることに気づき、社会の一員として、よりよい社会の形成に参画しようとする自覚を高める。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・中学校入学までにかかる費用について、自分なりのめあてや見通しをもって調べたり、計算したりする。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・中学校に入学するまでにかかる費用を調べる活動を通して、友達と共に考えを深め、協力し合って調査結果をまとめたり考察したりする。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること

- ・中学校入学までに必要な費用を知ること、自分が多くの人や社会に支えられていることに気づき、家族や社会のために自分ができることを考え、実践しようとする。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| 金融教育（金銭教育） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学までに必要な費用について考える活動を通して、金銭に対する理解を深める。</li> <li>・自分の成長に関わる費用について考える中で、金銭の機能を理解し、健全な金銭感覚を養う。</li> </ul> |
| 消費者教育      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、自分の行動と社会経済との関連を意識し、持続可能な社会へ寄与する消費生活を実践するとともに、諸問題について他者と協力して取り組むことができる能力を育てる。</li> </ul>   |
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校入学までに必要な費用について考える活動を通して、自分が多くの人や社会に支えられていることに気づき、よりよい社会づくりに参加・貢献するために必要な資質や能力を育てる。</li> </ul>         |

## 4 単元の指導計画（16 時間扱い）

| 時間        |              | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--------------|---|--|--|
| 1次<br>(3) | 問いをもつ        | <p>【中学校入学までにかかる費用について考える】</p> <p>○昨日、自分が使ったお金について話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お小遣いで50円の飴を買った。</li> <li>・ご飯を食べるのにもお金がかかっている。</li> <li>・テレビの電気代も使っている。</li> </ul> <p>○中学校に入学するまでにかかる費用について考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での教材費や宿泊行事の費用がかかっている。</li> <li>・中学校の入学時にも、制服や体操着をはじめ、教材費等の費用がかかる。</li> </ul>                                     | <p>◇学びに向かう力</p> <p>★身近な経験を基に、中学校入学までにかかる費用について、自分なりのめあてをもって調べる計画を立てている。</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小遣いの有無や消費活動の実態を話し合ったり、調査したりする際には、各家庭の状況等に十分配慮する。</li> </ul>                                      |
| 2次<br>(9) | 調べる          | <p>【計画を立てて、課題を解決する】</p> <p>○課題解決に向けて調べる計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食費、光熱費、教育費、娯楽費、生活費</li> <li>・電気代やガス代等の請求書を見る。</li> </ul> <p>○計画に沿ってグループで調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の入学費用も含め、お金は今後、ますます増えると家族から聞いた。</li> <li>・いったい教育費は、高校や大学に行くまでにどのくらいになるのだろう。</li> <li>・光熱費は節約していけば減らすことができるので、生活を見直す必要がある。</li> </ul> <p>○調査結果をまとめる。(3)</p> | <p>◆他者と協働する力</p> <p>★課題解決の過程で友達と一緒に考えを深め、協力し合って調査結果をまとめたり、考察したりしている。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食費、光熱費などの各分野の調査については、一般的な例として資料を提示して調べさせる。</li> <li>・調べた内容は、グラフや表等で示し、分かりやすく模造紙にまとめる。</li> </ul> |
| 3次<br>(4) | 発信する<br>振り返る | <p>【報告会を開き、自分たちの成長とそれに伴う費用について考える】</p> <p>○保護者を招き、調査報告会を行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各分野とも相当な金額になった。</li> <li>・総計を見ると、保護者の負担の大変さが分かった。</li> </ul> <p>○自分たちの成長と必要な費用について話し合い、自分のできることを作文にまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に必要な物を購入し、無駄使いはしない。</li> <li>・教科書の無償配布などは国民の税金によって支えられているので、教科書を大切に使用し、しっかり勉強していきたい。</li> </ul>                    | <p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★中学校入学までに必要な費用を知り、自らの生活を見つめ直し、家族や社会のためにできることを考え、実践しようとしている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告会では参加者に感想を述べてもらう場を設定する。</li> <li>・自分たちの成長は、家族以外にも多くの人や社会に支えられていることに気付かせる。</li> </ul>           |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第5学年 総合的な学習の時間

## 「最上級生になるには」(8時間)

## 1 単元の目標

- ① 学校における6年生の役割について考え、6年生としての目標を立てることを通して、最上級生に向けての自覚と責任を果たすことへの意欲を高める。
- ② 最上級生として、学校のためになることや自分にできることを考え、責任をもって実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・進級することについて自分なりのめあてや見通しをもって探究活動を進め、6年生になるための準備や感謝を伝えることについて、計画に沿って根気強く取り組む。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・6年生としての役割や責任について考えることを通して、最上級生としての立場に立って話し合ったり、下級生のことを考えてお互いに協力し合ったりして活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・学校行事や委員会活動、クラブ活動等での6年生の様子を知ることを通して、最上級生としての役割を考え、責任ある行動をとる。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| シティズンシップ教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の役割について考える活動を通して、最上級生としてよりよい学校づくりに向けて自分たちができることを考えたり、実行したりしようとする意欲や態度を育てる。</li> </ul>                               |
| キャリア教育     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の役割を調べることを通して、最上級生になることについての自覚を育て、役割を果たそうとする意欲を育てる。</li> <li>・最上級生としての目標をもたせることで、一人一人に自立の基礎となる資質や能力を育てる。</li> </ul> |

## 4 単元の指導計画（8時間扱い）

| 時間        |             | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|-----------|-------------|--|--|---|
| 1次<br>(1) | 問いをもつ       | <p>【6年生との思い出を振り返る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○これまで6年生にお世話になったことについて考え、話し合う。(1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動やクラブ活動でお世話になった。</li> <li>・運動会の係でお世話になった。</li> </ul> </li> <li>○最上級生について調べる計画を立てる。(1/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の様子を見学させてもらおう。</li> <li>・6年生の先生に聞いてみよう。</li> <li>・6年生にインタビューしてみよう。</li> </ul> </li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学びに向かう力</li> <li>★最上級生になることについて自分なりのめあてと見通しをもって活動に取り組んでいる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が最上級生になったことを想起させることで、最上級生になることへの関心を高める。</li> <li>・計画を立てる際には、時間や場所、相手の状況を考えるように助言する。</li> </ul>  |
| 2次<br>(3) | 調べる<br>話し合う | <p>【最上級生について調べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○見学やインタビュー活動を通して、最上級生のことについて調べる。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生が1年生の世話をしている場面を見学し、気を付けていることや苦勞していることを質問する。</li> </ul> </li> <li>○最上級生の役割についてグループで話し合う。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・下級生のお手本</li> <li>・学校を支える役割</li> <li>・学校を代表する存在 等</li> </ul> </li> <li>○最上級生の役割を知り、最上級生になった時の目標を立てる。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会でリーダーシップをとる。</li> <li>・縦割り班活動で下級生を助ける。</li> <li>・運動会で応援団長になり、団員をまとめる。</li> <li>・クラブ活動で、下級生に教えてあげる。</li> <li>・学校の代表として、行動に責任をもつ。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□主体的に計画・行動する力</li> <li>★6年生の様子を見ながら、最上級生になることへの自覚をもって探究活動を行っている。</li> <li>◆他者と協働する力</li> <li>★下級生のことを考えたり学校全体のことを考えたりしながら、最上級としての役割について友達の考えを参考にしながら話し合っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビュー活動をする際の注意点について確認しておく。</li> <li>・6年生が1年生に対する言葉遣いや接し方を工夫していることに気付かせる。</li> <li>・見学や6年生の担任への聞き取り、記録用紙等から活動状況を把握し、必要に応じて指導する。</li> <li>・目標は教室や廊下に掲示し、他学年の児童や保護者も見ることができるようにする。</li> </ul>             |
| 3次<br>(4) | 発信する        | <p>【決めた目標を6年生に伝える】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作った目標を基にして、6年生に進級するまでに努力することを話し合う。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級生としての責任</li> <li>・最上級生としての心構え</li> <li>・最上級生としての役割</li> </ul> </li> <li>○6年生に感謝の気持ちや自分たちの決意を伝える方法を話し合う。(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝える方法はどうしたらよいか。</li> <li>・6年生を送る会で発表したらどうか。</li> <li>・給食で会食をして、そこで発表したらどうか。</li> <li>・発表の仕方や会の内容を考える。</li> </ul> </li> <li>○6年生に感謝の気持ちと自分たちの決意を伝える会を開く。(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・最上級生としての責任、心構え、役割</li> <li>・6年生への感謝</li> <li>・6年生からの助言 等</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆他者と協働する力</li> <li>★6年生に進級するまでに努力することについて、友達の考えを参考にしながら話し合っている。</li> <li>□主体的に計画・行動する力</li> <li>★よりよい学校づくりに向けて、自分たち上級生が果たすべき役割を考えている。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめる方法や発表方法を複数提示することで工夫を促す。</li> <li>・事前に6年生の担任と、発表会等について打ち合わせを行い、ねらいを明確にしておく。</li> <li>・事前に6年生にアドバイス等を考えておいてもらい、5年生の意欲を引き出してもらおうようにする。</li> <li>・会終了後、自分たちの決意表明について振り返り、次年度への意欲を持続させるようにする。</li> </ul> |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

未来の創造

## 第6学年 総合的な学習の時間

## 「1年生に教えてあげよう」(11時間)

## 1 単元の目標

- ① 1年生に学校生活に関するきまりなどを教えることを通して、他者の多様な考えや立場を理解し、協力し合って活動することができる。
- ② 1年生が知っていると助かることを教える活動について、自分たちができることを考え、最上級生として自分たちに求められている役割を自覚し、実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、見通しをもって取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・1年生に教える活動について自分なりのめあてや見通しをもって探究活動を進め、自分たちが立てた計画に沿って根気強く実践する。

## ◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、他者と協力して行動すること

- ・1年生に教える活動を通して、1年生のやりたいことや知らないことに気づき、相手の立場に立って援助したり、協力し合ったりしながら活動する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・1年生の様子を知り、自分たちができることを考え、実行することで、学校における最上級生としての役割を自覚し、責任をもって行動する。

## ■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題に対して自分の考えをもち、自分なりに何ができるかを考え、実践すること

- ・1年生に教える活動を通して考えた上級生が果たすべき役割について5年生に伝えるとき、その役割を意識して実践する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| シティズンシップ教育 | ・1年生に教える活動を通して、最上級生として、よりよい学校づくりに向けて自分たちができることを考えたり、実行したりしようとする意欲や態度を育てる。                               |
| キャリア教育     | ・1年生に教える活動を通して、思いやりの気持ちを育て、相手の立場に立って考え、行動しようとする意欲を高める。<br>・自分のやりたい仕事やできそうな仕事を選び、役割と責任を果たそうとする意欲や態度を育てる。 |
| 福祉教育       | ・1年生一人一人を個人として尊重し、思いやりの心をもって援助し、共によりよく生きようとする態度を育てる。  |

## 4 単元の指導計画（11 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>■未来の創造<br>★評価  | 指導上の留意点  |
|-----------|--|---|--|
| 1次<br>(2) | 問<br>い<br>を<br>も<br>つ<br><br>【1年生に教えてあげたいことを考える】<br>○最上級生として、1年生のためにできることを考え、話し合う。(1)<br>・給食当番の仕方を教える。<br>・朝学習の時に読み聞かせをする。<br>・休み時間に一緒に遊ぶ。<br>○1年生のお世話をすることについて調べる計画を立てる。(1)<br>・1年生の様子を見学させてもらう。<br>・1年生の先生に聞いてみる。<br>・1年生にどんなことが困っているか質問してみる。  | ◇学びに向かう力<br>★1年生のためにできることについて、自分なりのめあてや見通しをもって活動に取り組んでいる。   | ・自分が入学した頃のことを想起させることで、教える活動への興味・関心を高める。<br>・計画を立てる際には、時間や場所、相手の状況を考えるように助言する。                                  |
| 2次<br>(4) | 調<br>べ<br>る<br><br>実<br>践<br>す<br>る<br><br>【お世話をすると助かることを調べて、実践する】<br>○見学や1年生の担任へのインタビュー活動を通して、お世話をすることについて考える。(1)<br>○教えてあげると助かる内容について話し合う。(1)<br>・校庭遊びの時に気を付けること<br>・体力調査の方法 等<br>○グループに分かれて、お手伝いの計画を立てる。(2)<br>・実施期間や曜日<br>・担当の内容<br>・役割分担<br>・1年生との接し方について注意すること<br>※グループごとに、始業前や休み時間、給食準備の時間等で一定期間実施する。 | □主体的に計画・行動する力<br>★1年生の様子等を踏まえ、最上級生としての自覚をもって探究活動を行っている。<br><br>◆他者と協働する力<br>★1年生の立場を考えて、援助したり協力したりしながら活動している。 | ・活動の場面や機会、注意点を確認する。<br>・1年生の立場に立ち、言葉遣いや接し方を工夫するように指導する。<br>・1年生の担任への聞き取りの様子や記録用紙等から活動状況を把握し、必要に応じて指導する。        |
| 3次<br>(5) | 発<br>信<br>す<br>る<br><br>振<br>り<br>返<br>る<br><br>【活動して分かったことを5年生に伝える】<br>○実践して学んだことや来年最上級生になる5年生に伝えたいことをまとめる。(1)<br>・自分たちが取り組んだ活動と1年生や担任が思っていることや考えていること<br>・教える際の注意や心構え<br>○活動したことを5年生に伝える発表会を行う。(3)<br>○「最上級生として、今後頑張りたいこと」について作文を書く。(1)<br>・よりよい学校をつくることの意義<br>・最上級生の役割と責任<br>・自分の取組の目標 等                  | ◆他者と協働する力<br>★役割分担に沿って、協力して活動に取り組んでいる。<br>■持続可能な社会の実現に向けた実践力<br>★よりよい学校づくりに向けて、最上級生が果たすべき役割を考えて5年生に伝えている。     | ・まとめ方や発表方法を複数提示することで工夫することを促す。<br>・事前に5年生の担任と発表会について打ち合わせをしておく。<br>・作文は文集にまとめて学校図書館に置くことを伝えることで、目的意識や他者意識を高める。 |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第6学年 総合的な学習の時間

## 「中学校生活を体験しよう」(9時間)

## 1 単元の目標

- ① 体験学習を通して中学校生活について知り、自らの進路について前向きに考え、よりよい中学校生活を過ごすことへの意欲を高める。
- ② 体験先の中学校で出会う様々な人の立場や考えを理解し、将来の中学生としての自覚をもって、授業や部活動などの体験学習に参加することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

・未知の学校生活での課題について考える学習を通して、小学校での様々な学習体験等を活用し、課題を解決する。

## ◆人間関係

「対人関係力」

- ・相手の立場に立ち、時と場をわきまえた礼儀正しい言動を行うこと
- ・相手の気持ちを共感的に受け止めて行動すること

・体験先の学校で出会う人の様々な考えを共感的に受け止め、相手の立場を考えて、多様な他者と積極的に交流する。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

・将来の中学生としての自覚をもち、自分の立場や役割を考え、友達と共に中学校での授業や部活動などの体験学習に参加する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |   |
|------------|---|
| キャリア教育     | ・中学校生活に向けた自己の課題に気づき、進路について前向きに考え、社会的な自立への関心や意欲を高める。   |
| シティズンシップ教育 | ・中学校での授業や部活動などの体験学習を通して、社会参画に必要な知識・技能に対する関心や意欲を高め、多様な他者との関わりの中で自己実現を図ろうとする態度を育てる。             |
| 健康教育       | ・中学校の生活を知ること、規則正しい生活や運動の大切さ等を理解し、生涯を通じて健康課題をよりよく解決していく資質や能力の基礎を培う。                            |
| ICT教育      | ・情報通信ネットワーク等を活用し、中学校の学校行事や部活動などについて情報収集したり、プレゼンテーション用の機器やアプリケーション等を活用したりして、自分の考えを明確に伝える力を育てる。 |

## 4 単元の指導計画（9時間扱い）

| 時間        |                  | 主な学習活動・内容   | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点   |
|-----------|------------------|---|--|---|
| 1次<br>(3) | 問いをもつ<br><br>調べる | <p>【中学校生活について考える】</p> <p>○中学校の学校生活について、学校行事や授業、部活動等を中心に話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校則の内容</li> <li>・委員会活動の内容や回数</li> <li>・小学校と中学校の年間の学校行事の違い</li> <li>・教科担任制の授業や定期考査</li> <li>・部活動（運動部・文化部）等</li> </ul> <p>【体験学習について計画を立てる】</p> <p>○参加したい授業や部活動について話し合い、体験学習の計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような部活動や授業があるのか。等</li> </ul> <p>【中学校生活や体験学習を調べる】</p> <p>○体験する活動や訪問上の注意点等について調べる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語や外国語（英語）、保健体育や技術・家庭等の授業の内容や取り組み方の違い</li> <li>・運動部や文化部等の練習やきまり 等</li> </ul> | <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★中学校生活に興味・関心を持ち、課題を見付けている。</p> <p>◇問題発見・解決力</p> <p>★小学校での経験を基にして、体験学習での課題を設定し、自分が参加したい授業や体験したい部活動を決めている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習では、事前に中学校と連絡調整し、児童が多様な教科をバランスよく選択できるよう、リストを用意する。</li> <li>・部活動は、各自の特性に応じて選択するように助言する。</li> <li>・近隣の中学校から学校案内等を取り寄せ、資料活用できるようにする。</li> <li>・体験学習について調べた後、課題をワークシートに書くように促す。</li> </ul> |
| 2次<br>(3) | 実践する             | <p>【中学校での活動を体験する】</p> <p>○授業や部活動を体験する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、中学校の教員や中学生の説明を聞く。</li> <li>・事前学習用シート等にメモをとる。</li> <li>・校内の施設を見学する。</li> <li>・授業に参加する。</li> <li>・実際に部活動等を見学し、体験する。</li> </ul> <p>○授業や部活動等の体験後、自己の課題に関する質問を中学生や中学校の職員にする。(1)</p>  | <p>◆対人関係力</p> <p>★体験先で出会う人の様々な考えを共感的に受け止めている。</p> <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★将来の中学校の一員としての自覚をもって友達と共に体験学習に参加している。</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りや学習シートで体験状況を把握し、指導に生かす。</li> </ul>  |
| 3次<br>(3) | 発信する<br><br>振り返る | <p>【体験学習で学んだことを発表する】</p> <p>○中学校での体験学習で学んだことをグループごとにまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科担任制の授業では、計画を立て、自主的・自律的に学ぶ姿勢が大切である。</li> <li>・運動部の活動で健康が増進されるとともに、大切な友人ができる。等</li> </ul> <p>○「中学校体験発表会」を行う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校に入学するまでに、自分たちが準備すること 等</li> </ul> <p>○中学校の入学に向けて作文を書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生としての自覚や責任</li> <li>・中学校生活での目標や抱負 等</li> </ul>  | <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★体験で学んだことから、来年度、中学生となる自分の課題や役割を考え、解決の方法を発表したり、作文に書いたりしている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校への進学不安を取り除き、進路について前向きに捉え、意欲がもてるように配慮する。</li> </ul>   |

小学校

自主・自律

人間関係

社会参画

## 第6学年 総合的な学習の時間

## 「これからの自分の暮らし」(13時間)

## 1 単元の目標

- ① 税金と自分たちの暮らしとの関わりを理解することで、社会への参画意識を高め、友達と協力しながら、よりよい地域づくりについて考えることができる。
- ② 地域の公共施設で働く人々に学ぶことで、地域社会の一員としての自覚を高め、地域のために自分ができることを提案し、実践することができる。

## 2 単元で育てたい資質・能力

## ◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験を踏まえて実行すること

- ・身近な税金や公共施設等について考えることで、地域社会の課題を見付け、その課題解決の方策を考える。

## ◆人間関係

「人間関係形成力」

- ・互いのよさを発見し、違いを認め、話し合うこと
- ・他者とのことを考えて行動し、互いに認め合うこと

- ・友達の考えのよさを見付け、尊重しながら自らの考えを深め、税金の役割やよりよい地域社会の在り方について、話し合う。

## □社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・集団や地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考え、活動すること

- ・地域の課題を見付けたり、公共施設等で働く人の話を聞いたりすることを通して、地域の一員としての自覚を深め、自分にできることを提案する。

## 3 単元で扱う主な教育課題との関連

|            |  |
|------------|--|
| シティズンシップ教育 | ・自分の住む地域を支える人からの話を聞き、自己実現を図るとともに、よりよい地域の実現に寄与するために、多様な他者と積極的に関わり、自分の考えを実践しようとする態度を育てる。 |
| 租税教育       | ・公共施設等と税金の在り方について考えることで、将来の納税者としてよりよい地域づくりのために実践できる資質や能力を育てる。                          |
| 主権者教育      | ・地方自治は住民自治を基本としている視点から、主権者としてよりよい地域づくりについて考える力を育てる。                                    |
| キャリア教育     | ・地域を支える様々な人と触れ合ったり、よりよい地域について友達と話し合ったりすることを通して、自分の生き方について考える力を育てる。                     |

## 4 単元の指導計画（13 時間扱い）

| 時間        | 主な学習活動・内容  | 育てたい資質・能力<br>◇自主・自律<br>◆人間関係<br>□社会参画<br>★評価   | 指導上の留意点  |
|-----------|--|--|--|
| 1次<br>(4) | <p><b>問いをもつ調べる</b></p> <p>【税金と自分たちの暮らしについて考える】<br/>○日常の生活体験を基に、税金について考え、話し合う。(1)<br/>・消費税、所得税、自動車税 等<br/>・税金を納めることは国民の義務<br/>・税金の使用目的<br/>○地域の暮らしを豊かにするための税金の役割について、各自の課題を見付ける。(2)<br/>・医療、介護、年金、子育て等の社会保障にかかる費用について<br/>・教育の充実や住民の安全について</p> <p>【公共施設で働く人の話を聞く活動の計画を考える】<br/>○公共施設等で働く人の話を聞く活動の計画を立て、グループごとに公共施設等で働く人への質問を考える。(1)</p> | <p>◆人間関係形成力<br/>★税金の意義や役割について友達の考えを聞き、自分の考えを深めながら話し合っている。<br/>◇問題発見・解決力<br/>★地域を支える人の話から、地域づくりへ貢献するための計画を立てている。</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の税に関する学習を想起させる。</li> <li>・事前に中学生の「税の作文」を用意し、税金に関して考えさせておく。</li> <li>・地域にある税務署の人と連携し、資料等を活用できるようにする。</li> <li>・課題が、公共施設で働く人への質問に反映できるようにする。</li> </ul> |
| 2次<br>(4) | <p><b>実践する振り返る</b></p> <p>【公共施設等で働く人の話を聞く活動の計画を考える】<br/>○グループごとに公共施設の様子を調べ、働く人の話を聞く。(2)<br/>・社会福祉施設の役割やサービス<br/>・社会福祉施設で働く人の思い<br/>・消防署で働く人の思い<br/>・警察署で働く人の安全な町づくりへの取組や願い 等<br/>○話を聞いて、よりよい地域づくりのためにできることを振り返り、自分が提案できることについて考える。(2)<br/>・暮らしに必要な法やきまりの意義<br/>・生活のために果たす義務<br/>・安全なまちを目指した「安全マップ」づくり<br/>・ボランティアとしての社会福祉施設訪問 等</p>    | <p>◆人間関係形成力<br/>★公共施設等で働く人の話を聞いて、自分の提案を考えている。<br/>□主体的に計画・行動する力<br/>★地域の一員として自分に求められている役割を自覚し、自分にできることを考えて活動し、振り返っている。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設では地域の人のためにどのような取組をしているのかに着目して話を聞くように働きかける。</li> <li>・地域の中での自分の役割について振り返り、よりよい地域づくりのために自分ができていることを具体的に考えさせる。</li> </ul>                               |
| 3次<br>(5) | <p><b>発信する</b></p> <p>【よりよい地域づくりの発表会を行う】<br/>○調査活動や働く人の話で得た情報を基にして、グループごとに地域をよりよくするための提案について発表し合う。(3)<br/>・幼児、高齢者、障害のある人のために自分たちができること<br/>・公共の場を気持ちよく過ごせるようにするための工夫<br/>○地域の一員として、公共施設で働く人から学んだことや自分たちがやるべきことなどを新聞としてまとめる。(2)</p>   | <p>□主体的に計画・行動する力<br/>★地域の一員としての自覚をもち、地域をよりよくするための提案を発表している。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もがよりよく暮らすことができるようにという視点から、実現可能な提案ができるように働きかける。</li> <li>・完成した新聞は訪問した各公共施設に届けることを事前に知らせる。</li> </ul>   |